

生涯学習

施策展開の方向性及び主要事業	37
啓発事業	39
生涯学習センター	39
青少年教育	41
成人教育	41
南部青少年センター	42
公民館	44
図書館	46
文化財	48
埋蔵文化財調査センター	50
千葉市の文化財一覧	52
加曽利貝塚博物館	55
郷土博物館	58
千葉市科学館	60

生涯学習

■施策展開の方向性及び主要事業

1 学習活動のきっかけの提供

①生涯学習の普及啓発

学ぶ場と学ぶための情報提供の充実

市民の生涯学習のきっかけづくりとなる各種生涯学習情報を発信する。発信にあたっては、市ホームページ・生涯学習センターホームページ、市政だより、教育だより、公民館だよりのほか、ソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）等を積極的に活用していく。

また、国・県の施設や大学、専門学校等が実施する講座等についても、積極的に情報の収集及び提供を図り、学習機会の拡大に努める。

e ラーニング普及事業の実施

学習活動に時間を取れない市民がいつでもどこでも学べるように、生涯学習センターにおいて e ラーニングによる無料体験を実施し、e ラーニングを普及することにより学びの機会を広げる。

②学習環境の整備

図書館サービスの向上

図書館資料の整備を行うなど、身近で頼れる市民の図書館として図書サービスの充実を図る。また、図書館ホームページにおいて、企画展示等の学習関連情報を発信するほか、インターネット予約等の利便性が高いサービスを提供する。

公民館の改修

生涯学習環境を改善するため、公民館の老朽化した施設・設備の改修を行う。

中央図書館・生涯学習センター等の改修

生涯学習環境を改善するため、中央図書館・生涯学習センター、南部青少年センター・みやこ図書館白旗分館の老朽化した施設・設備の改修を行う。

2 多様な学習機会の確保

①郷土への愛着を深める学習機会の提供

特別史跡加曽利貝塚の認知度向上及び環境整備

特別史跡加曽利貝塚について、郷土に非常に歴史的価値の高い史跡があることを広く周知するとともに、来場者の利便性及び満足度の向上を図るため、環境整備や体験メニューの提供を行う。

文化財の保存・活用の推進

文化財を適正に保存・管理するため、建造物の改修等を行う。

郷土の理解を深める講座・事業の充実

郷土を理解し愛着を深めるため、加曽利貝塚、千葉氏、大賀ハス、及び海辺等に代表される郷土の歴史・伝統文化や本市の風土・自然・産業等を学ぶ講座、発掘体験・土器づくり等の体験学習、博物館展示解説等を充実する。

また、主要駅に近隣の史跡や文化財の所在地を示した案内看板を設置するとともに、史跡・文化財の解説を掲載した文化財説明板の拡充を図る。

②市民ニーズに対応した学習機会の提供

未来の科学者育成プログラムの充実

中学生・高校生を対象に、科学に興味・関心を持たせ、その能力を伸ばすために質の高い学習プログラムを提供し、市内の大学、研究機関、企業などが有する先端科学技術を体験させることにより、未来の科学者を目指す意欲を高める。

今後も、各コースの再編及び一部講座の変更を検討する。

キャリア教育の推進

就業前の児童・生徒の社会的・職業的自立に向けて必要な意欲・態度や能力を育てるとともに、地域の企業等の事業への理解を深めてもらうために、職業に関する学習や職場体験等のキャリア発達を促す体験活動を地域の様々な機関と連携して行う。

また、大学、専門学校等の高等教育機関と連携して資格取得のための講座等の情報提供やeラーニングを活用した就労や学び直し・キャリアアップに寄与する学習機会の提供など、個人生活の向上と共に、市民生活や地域産業経済を支える人材の育成にもつながる、キャリア教育を推進する。

放課後子ども教室の推進

学校の放課後に魅力的な「体験・学び」の機会を充実させるため、これまで培ってきた地域・保護者を中心とした運営体制に加え、民間企業・大学・NPO等の参加と協働を進めるとともに、教育委員会が総合調整を担うことにより、各教室における地域教育力の向上を図り、活動プログラムの充実及び実施日数の増加を図る。

また、本事業は確かな学力・豊かな人間性・健やかな体を育てる学校教育に積極的に貢献する。

家庭教育支援事業の実施

家庭教育学習講座を開催するほか、家庭教育支援チームや子育てサポーターの活動を通じて、家庭教育の支援や子育ての不安や悩みの解消を図る。

3 学びを生かしたコミュニティづくり

①地域の担い手となる人材育成

団体・グループ活動のリーダーの養成・育成

新しく学習活動を始める個人・団体の参加の促進や既存団体の活動の活性化等により、地域での学習活動や地域づくりを推進するため、ファシリテーション研修やコーディネーター養成講座等を実施し、リーダーとなる人材の養成・育成を充実する。

ボランティアの育成

学習活動を通じた地域づくりのため、自らの知識や技能を社会・地域に還元することを目的とする生涯学習ボランティアを生涯学習センターで研修等の実施により育成する。

また、合同説明会の開催等を通して、他の施設・団体（千葉市ボランティアセンター、千葉市民活動支援センター、（公財）千葉市国際交流協会）が所管するボランティア等との連携・協働を図る。

さらに、生涯学習施設の企画・運営等に協力する施設ボランティアのほか、平成 32 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを見すえ、障害者スポーツを支援するボランティアをはじめ、必要な各種ボランティア等を育成する。

②学習成果の活用機会の提供

ボランティアセンター等におけるコーディネートの実施

ボランティアがさらに活用されるよう、ボランティアとその支援を必要とする団体・個人のマッチングを行うため、千葉市ボランティアセンター、ちば生涯学習ボランティアセンター、及び千葉市国際交流協会において、ボランティアに関する相談に応じ、登録ボランティアとのコーディネートを行うほか、千葉市民活動支援センターにおいて、ボランティア情報の提供等を実施する。

また、上記の団体・施設間で定期的な情報交換を行い、他団体・施設の所管するボランティアについても情報提供に努める。

③市民の参加・協働による学習活動の推進

多様な主体による学習活動の推進

大学等の高等教育機関、CSR 活動を行っている民間企業やNPO 法人、生涯学習施設で活動する社会教育関係団体等の多様な主体と連携し、それぞれの専門性を生かした講座等の開催を推進する。

公民館を拠点とした地域連携の推進

地域の絆を醸成するため、さらに地域の諸団体の活動拠点として公民館の利用を促し、諸団体の相互の関わりを意識的に持たせること等により、地域住民のつながりを深める。

■啓発事業

生涯学習情報誌「ちばまなびの森」を発行し、特集記事、イベント情報等を掲載し、生涯学習を総合的にPRする。

- ・年3回発行（7月、11月、3月）
- ・公民館、図書館、コミュニティセンター、区役所などにおいて、市民に配布。ホームページでも閲覧可能。

■生涯学習センター

生涯学習センターは、市民の主体的で創造的な学習活動を支援するため、関係機関との連携を強化するとともに、調査研究機能や学習プログラムの充実、学習情報の提供、相談体制の整備・充実など、生涯学習を総合的に推進する事業を展開している。

1 事業の概要

先進的な学習プログラムを実施し、地域から学ぶ実践的な学習講座を展開する。

また、ボランティア活動等を支援するための体験的な学習講座を実施している。

2 施設の利用状況（平成 29 年度）

- (1) 中央図書館・生涯学習センター入館者数…………… 1, 087, 719 人
 (2) 駐車場利用台数…………… 194, 770 台
 (3) 施設利用件数(施設開館日数 347 日・18 施設)…………… 14, 613 件

3 生涯学習相談件数（平成 29 年度）…………… 2, 610 件

4 視聴覚教育機器・ソフト貸出事業（平成 29 年度）

- (1) 16mm 映写機ほか 9 機種…………… 567 件
 (2) 16mm フィルムほか 2 種…………… 371 本
 (3) 利用相談件数…………… 238 件

5 学習事業（平成 29 年度）

(1) 指定管理事業

事業分類	実施事業	延受講者数(人)
ちばカレッジ・郷土に関する事業	遊・友・ちば、千葉を駆け抜けた武将たち 他	2, 072
現代的課題学習	環境問題、スポーツ振興、健康づくり、キャリアプランニング・就労支援、家庭教育・子育て支援、青少年の健全育成事業 他	3, 195
指導者の養成	生涯学習指導者養成研修 基礎研修・実践研修、学校地域支援者研修、生涯学習コーディネーター養成講座、公民館職員研修 他	513
学習ボランティア活動の支援	施設ボランティア養成研修、まなびサポーターによる講座 他	1, 184
ボランティアセンターの運営	ボランティアセンター登録者研修、登録者ミニ講座 他	333
研修生等の受け入れ	インターンシップ 中学生職場体験学習 他	84
パソコン講座	初・中・上級パソコン講座、ボランティアによる講座 他	5, 500
視聴覚事業	16 ミリ映写機操作講習会、月曜名画座 他	10, 567
メディアリテラシーに関する学習	シニア向けはじめてのスマホ体験 他	38
情報端末機器に関する学習	アンドロイドスマートフォン活用講座 他	79
市民の学習活動への支援	市民自主企画講座	499
学習成果の発表の機会の確保	まなびフェスタ、やすらぎのアトリウムコンサート 他	2, 854

(2) 自主事業

事業分類	実施事業	延受講者数(人)
幅広い学習ニーズに合わせた講座等の実施	調理実習講座、大学公開講座、生涯学習アカデミーちば、埋蔵文化財に関する講座 他	2, 883
センターをPRするために有効なイベントの開催	生涯学習センター夏祭り、ちば音楽コンクール 他	5, 513
生涯学習情報の発信拠点としての展示等の開催	写真で見る千葉市の遺跡展、埋蔵文化財ロビー巡回展、「ちば」に関する地域学展示 他	—

6 視聴覚ライブラリー

視聴覚メディア（マルチメディア機器）を活用した効果的な学習・教育活動を推進、奨励するため、小・中学校、公民館、社会教育団体等に対して、視聴覚教材、機材の貸出、16ミリ映写機操作講習会を実施した。

また、視聴覚教材を計画的に購入し、ライブラリーの充実を図った。

視聴覚教材・機材保有状況（平成30年4月現在）

教材	16ミリ映画フィルム	1,024本
	8ミリ映画フィルム	101本
	ビデオソフト（VHS）	1,020本
	スライド	42組
	DVD	349本
機材	16ミリ映写機	5台
	OHP	2台
	OHC	1台
	スクリーン	8本
	ビデオプロジェクター	8台
	スライドプロジェクター	1台
	ビデオデッキ	3台
	DVDデッキ	7台
	ダブルデッキ	2台
	暗幕	10枚
	外部スピーカー	11台

■青少年教育

南部青少年センター及び各地区の公民館等を拠点として、次代を担う青少年が、心身ともに健全で創造性豊かに成長することを目的として、各種の青少年教育事業を実施している。

○事業一覧（平成29年度）

事業名	事業数	開催期間	内 容	会 場
少年少女科学クラブ	1	6月～3月	基礎工作、生活、学習、安全をテーマとしたアイデア工作等	科学館
チバシティアストロクラブ	1	6月～2月	星や宇宙に親しむクラブ活動	科学館 他
少年教室・講座	282	通年	子どもチャレンジ広場、子ども科学教室 他	南部青少年センター 公民館 他
親子教室・親と子のつどい	7	通年	親子体験学習、親子料理教室、親子ふれあい教室 他	南部青少年センター 公民館 他

■成人教育

1 家庭教育学級、成人大学、成人教育講座等（平成29年度）

明日の豊かな市民生活のために、成人を対象とした幅広い学習の場を設け、自主的な共同学習の機会を提供している。

事業名	事業数	開催期間	内 容	会 場
家庭教育学級等	61	通年	それぞれの時期、立場にある親を対象とし、家庭教育の意義、家庭・親のあり方、子どもの発達段階の理解、望ましい子育て等を学習し、家庭教育の振興に資する。	公民館
子育て親育ち講座等 ※文部科学省補助事業	15	6月～3月	子育てやしつけなどの家庭教育のあり方について考える機会とする。中学校、小学校、公民館において実施。	中学校 小学校 公民館
成人教室、講座等	277	通年	現代的課題に関する講座、ボランティア養成、パソコン講座、郷土史講座、リサイクル講座 他	公民館
女性教室、講座等	19	通年	女性のためのセミナー、手工芸 他	公民館
高齢者教室、講座等	63	通年	高齢者携帯電話活用術、介護予防講座 他	公民館
コンサート、講演会等	65	通年	地域交流講座、ふれあいコンサート 他	公民館

2 社会教育関係団体・グループ育成

社会教育関係団体・グループの各種活動の充実を図るため、求めに応じて指導助言にあたりとともに育成に努めている。

(1) 社会教育関係団体一覧（平成 30 年 4 月 1 日現在）

区 分	団 体 名	団体数	会員数
青年団体	千葉市青年協議会	9	235
女性団体	千葉市地域婦人団体連絡協議会	5	120
	千葉市女性グループ連絡会	11	146
	千葉市女性団体連絡会	6	218
成人団体	千葉市 P T A 連絡協議会	107	44,253
	千葉市高齢者学習団体連絡協議会	10	73
	千葉市ボランティアグループ連絡会	4	42
	公民館クラブ・サークル	1,953	23,045
	千葉ユネスコ協会	1	115

(2) 育成事業一覧（平成 29 年度）

区 分	事 業 区 分	事業数	内 容
成人団体	千葉市 P T A 連絡協議会事業	6	ブロック研修会、P T A 学級、広報担当者講習会、 広報コンクール、広報紙発行、各種研修会派遣
	公民館クラブ・サークル等の連絡会事業	43	公民館文化祭
	公民館クラブ・サークル育成事業	10	クラブサークル研修会 等
	千葉ユネスコ協会事業	2	国際理解・交流活動

■南部青少年センター

青少年が、主体的に自らの教養や技能を高めるとともに、学習や文化活動等を通して仲間づくりのできる場や機会の提供に努めており、地域の自治・社会福祉活動の場としても幅広く活用されている。

また、市民相互のふれあいによる学習活動を通じた新たな可能性と価値を生み出す地域づくりに寄与するため、学習成果の発表と異世代交流の場や機会を積極的に提供し、次代を担う青少年の健全育成を支援している。

1 運営方針

(1) 社会の変化や青少年のニーズに応える創意工夫に満ちた事業の企画と実践に努めるとともに、青少年センターに求められる施設機能の充実に向け、効果的な事業展開を進める

- ①セルフモニタリング等により利用者ニーズを的確に把握し、事業内容や実施方法の積極的な見直しを行う。
- ②異年齢集団による活動や異世代の交流活動を支援し、青少年の健全育成を図る。
- ③青少年・市民等の生涯学習活動の成果発表の場や機会を積極的に提供する。
- ④優れた講師の活用とサークル活動の支援と育成を図る。
- ⑤青少年育成に係る他機関や N P O 等の市民団体と連携した事業の企画・実践により、事業の質的向上を図る
- ⑥青少年の健全な育成を図り、教養の向上に資することを目的に設置された青少年センターとして、小学校の学習支援や、施設の特徴を生かした講座を実施する。
- ⑦社会福祉協議会、自治会、子ども会、ボランティア団体など地域の各種団体との連携を強化し、地域住民の利用促進を図るとともに、地域に開かれた事業を展開する。
- ⑧みやこ図書館白旗分館と白旗エリア子どもルームとの連携を強化し、複合施設としての利点が活かせるよう各種事業の工夫改善を図る。

(2) 学習情報の効果的な提供に努める

- ①広報活動の推進と方法の工夫により、積極的な情報発信を図る。
- ②他機関や団体との連携の強化による学習情報の収集、活用、提供に努める。

(3) 施設・設備の整備と有効活用を図る

- ①施設・設備の保守及び管理の徹底、迅速適切な修繕により、不具合や事故を防止する。
- ②青少年や市民等の生涯学習活動の成果発表の場として施設・設備が有効活用されるように利用者の立場に立った施設整備に努めるとともに、利用者サービスの向上を図る。
- ③利用者への利用技術の伝達や指導の徹底を図る。

(4) 災害時における利用者の安全を第一に、防災計画の強化を図る

- ①各種保守点検を確実に実施し、改善が必要な事項には適切に対処する。
- ②防災計画や災害発生時の対応マニュアルに基づく避難訓練を適切に実施し、災害時における利用者の安全を確保できるようにする。
- ③避難所運営委員会と連携し、避難所としての機能を高める。

2 事業の概要

事業名	主な内容	実施期間
施設貸出	ホール・講習室・録音室・レッスン室・視聴覚室・料理実習室等の貸出し	通年
わくわくカレッジ	青少年・一般を対象としたフラワーアレンジ・料理・ヨーガ等の講座	4月～3月の土曜日等
ゆめチャレンジ	施設利用青少年団体等による成果発表会	1月
舞台照明・音響講習会	青少年・一般を対象としたホールの照明・音響設備の操作講習会	随時
ときめきサタデー	在学青少年を対象としたフラワーアレンジ・お菓子づくり等の講座	4月～3月の土曜日等
サマーチャレンジ	小学生を対象とした工作教室	夏休み期間

3 年間利用状況（平成29年度 開館日数293日）

(1) 主催事業

	在学青少年対象	青少年・一般対象		合 計
	講座関係	講座関係	育成関係	
実施回数	19	12	7	38
参加人数	396	150	1,124	1,670

(2) 貸出事業

	青少年	一 般	教育関係	官公署	合 計
利用回数	1,074	2,384	216	121	3,795
利用人数	7,326	9,625	13,414	2,700	33,065

4 利用方法

(1) 施設貸出

- 期 間 通年（但し、月曜日・国民の祝日・年末年始を除く）
- 時 間 午前9時から午後9時まで（但し、小・中学生については、午前9時から午後5時まで）
- 対 象 市内在住・在勤・在学の青少年及び青少年団体並びに一般
- 受 付 Web 又は窓口で、青少年は利用の1か月前から、一般は2週間前から
- 利用料 無料

(2) 主催事業

- 市政だより、ホームページ、学校・官庁・関係機関等へ「ちらし」の配布、ポスター掲示等により募集する。
- 申し込み受付は、来所、電話、往復ハガキで行い、受講者は、先着順または抽選により決定する。
- 受講料は無料。但し、教材費相当額を参加者負担とする。

■公 民 館

「ゆとりと活力ある都市づくり」を目指す本市では、社会教育を含めた生涯学習の拠点施設として公民館を設置し、地域住民の多様化する学習ニーズに対応した学習機会を提供している。

生活文化の向上や住みよい地域社会づくりを推進するために次の施策を展開する。

- ①地域住民の連帯感や自治意識を醸成する。
- ②地域住民の学習要求や生活課題の解決を援助する。

1 公民館の設置概要

本市の公民館は、原則として1中学校区に1館を設置する方針で整備した。

2 事業の概要

公民館は、市民のだれもが、いつでも、どこでも生涯にわたり学べる学習機会を提供している。

ここでは、居住区の特性や社会教育課題の発見に努め、地域連帯の輪を広げるとともに、人と人との結びつきを強めていく各種事業を企画・実施している。

なお、主催事業や各種活動をまとめると、以下の通りである。

(1) 少年教育事業

- ①少年教室・講座の実施
- ②親子教室、親と子のつどいの実施

(2) 成人教育事業

- ①家庭教育学級・講座の実施
- ③成人教室・講座の実施
- ②女性学級、女性教室・講座の実施
- ④高齢者学級・教室の実施

(3) 公民館クラブ、団体の育成

公民館の学級・講座から自主的にクラブを結成したり、地域の有志で組織したりしたクラブ等が、公民館を拠点に活動している。それらのクラブ、団体の自主的活動や文化祭等の援助をはじめ、地域の子ども会や公民館クラブ等の指導者講習会を開催し、育成に努めている。

(4) 情報の提供

地域住民の自主的な社会教育活動を促進するため、市政だよりへの掲載や公民館だより等を発行し、学習機会や学習の場などに関する情報を提供している。

3 施設の利用状況

(1) 年度別公民館利用状況（小数点以下四捨五入）

年 度	年間利用者人数(人)	日平均利用者人数(人)	利用回数(回)	日平均利用回数(回)
24年度	1,185,863	3,249	99,375	277
25年度	1,139,790	3,175	97,332	271
26年度	1,168,942	3,256	99,938	278
27年度	1,137,679	3,160	96,910	269
28年度	1,106,305	3,082	96,113	268
29年度	1,094,425	3,049	98,000	273

(2) 公民館利用状況（平成 29 年度 開館日 359 日※）
（小数点以下四捨五入）

館 名	主催事業 等参加者 (人)	利用人数 (人)	日 平 均 (人)	延 利 用 回数(回)
松 ケ 丘	1,605	33,550	93	3,927
生 浜	1,934	17,878	50	1,814
新 宿	1,902	31,634	88	3,280
宮 崎	1,227	25,709	72	2,391
葛 城	1,359	9,790	27	1,072
末 広	2,078	15,968	44	1,563
椿 森	624	12,307	34	1,164
川 戸	862	12,616	35	1,206
星 久 喜	2,458	13,512	38	1,108
幕 張	6,643	46,547	130	3,744
花 園	3,294	40,839	114	3,201
犢 橋	96	3,806	22	478
検 見 川	1,081	22,000	61	2,058
花 見 川	1,495	20,963	58	1,643
さつきが丘	502	13,277	37	983
こてはし台	1,618	20,434	57	1,839
長 作	823	12,690	35	1,190
朝日ヶ丘	1,250	20,959	58	1,537
幕張本郷	3,944	24,965	70	2,115
小 中 台	1,335	45,279	126	3,792
黒 砂	1,587	35,323	98	2,852
轟	2,951	35,274	98	3,129
稲 毛	1,401	28,138	78	2,196
千 草 台	3,214	18,095	50	1,516
草 野	964	16,482	46	1,392
山 王	2,487	19,250	54	1,496
都 賀	1,271	13,997	39	1,073
緑 が 丘	1,235	18,904	53	1,646
千 城 台	4,543	40,676	113	3,391
更 科	632	10,882	30	957
白 井	1,165	19,021	53	2,113
加 曽 利	1,420	13,975	39	1,469
大 宮	1,979	21,213	59	1,771
みつわ台	1,871	31,766	88	2,594
若 松	359	17,157	48	1,976
桜 木	1,662	20,380	57	2,074
誉 田	916	41,393	115	3,539
椎 名	1,201	11,803	33	1,211
土 気	1,057	24,703	69	1,864
越 智	1,332	15,285	43	1,845
おゆみ野	3,580	45,915	128	4,144
稲 浜	2,154	35,509	99	3,539
幕 張 西	2,376	22,598	63	2,173
磯 辺	972	13,746	38	1,426
幸 町	411	19,977	56	2,192
高 浜	2,707	20,135	56	1,824
打 瀬	3,342	38,105	106	2,493
合 計	84,919	1,094,425	65	98,000

※犢橋公民館は改築し、10月1日に再開館

4 公民館図書室資料の整備状況
（平成 29 年度）

館 名	蔵書(冊)	雑誌(誌)	新聞(紙)	蔵 書 中 児童書数(冊)
生 浜	16,118	8	1	6,654
幕 張	21,831	9	1	8,196
検 見 川	27,093	8	1	10,864
さつきが丘	25,206	3	1	9,421
長 作	22,594	8	1	9,723
朝日ヶ丘	20,061	4	1	7,436
千 草 台	26,089	5	1	8,794
草 野	24,308	3	1	9,267
山 王	23,722	4	1	9,460
都 賀	26,057	4	1	9,437
緑 が 丘	18,260	5	1	6,332
更 科	16,963	9	1	7,514
大 宮	24,963	3	1	8,004
みつわ台	25,435	6	1	9,433
若 松	22,762	6	1	9,381
桜 木	23,187	4	1	8,171
誉 田	34,460	7	1	12,652
越 智	18,997	6	1	7,549
幕 張 西	21,690	5	1	7,811
磯 辺	22,209	6	1	11,904
幸 町	48,681	6	1	16,904
合 計	510,686	119	21	194,907

5 公民館図書室の図書貸出状況、開館日数
（平成 29 年度）

館 名	図 書			開館日数 (日)
	一 般	児 童	合 計	
生 浜	18,796	10,256	29,052	298
幕 張	47,165	32,542	79,707	343
検 見 川	26,122	20,579	46,701	343
さつきが丘	22,800	9,470	32,270	343
長 作	10,367	4,822	15,189	343
朝日ヶ丘	37,968	17,567	55,535	343
千 草 台	21,562	7,574	29,136	343
草 野	20,448	10,055	30,503	343
山 王	17,013	8,029	25,042	343
都 賀	16,861	17,656	34,517	343
緑 が 丘	25,852	13,413	39,265	343
更 科	5,226	1,873	7,099	343
大 宮	12,729	3,822	16,551	343
みつわ台	47,553	30,741	78,294	343
若 松	17,690	15,911	33,601	343
桜 木	16,247	16,983	33,230	343
誉 田	22,329	18,179	40,508	343
越 智	14,123	5,048	19,171	343
幕 張 西	42,557	41,163	83,720	343
磯 辺	18,102	8,661	26,763	343
幸 町	32,908	14,836	47,744	343
合 計	494,418	309,180	803,598	

※生浜公民館図書室は、改修工事のため休室あり

■図 書 館

1 図書館の概要

図書館は昭和 47 年の北部図書館（現稲毛図書館）の開館に始まる。現在、中央図書館を中核とし、地区図書館 6 館、平成 29 年 3 月に開館した「みずほハスの花図書館」を加えた分館 8 館及び公民館図書室 21 室を設置し、移動図書館と併せて市内全域に図書館サービスを行っている。

<図書館の特色>

- ①だれもが、いつでも、どこでも気軽に利用できるように市内に 15 の図書館と 21 の公民館図書室を設置し、全てをオンラインで結び、貸出・返却等の業務のほか、資料情報の提供も行っている。
また、市内の図書館間（公民館図書室を含む）にブックメールカーを週 6 日運行し、市内図書館の所蔵資料の共有化と有効利用を図り、市民への迅速な資料の提供に努めている。
- ②インターネットによる所蔵資料の蔵書検索サービス等を行い、幅広い情報提供に努めるとともに、平成 19 年 4 月よりインターネットを通した予約サービスを開始した。
- ③市民の高度なレファレンスに応えるため、中央図書館を核として調査・研究機能の充実に努めている。平成 19 年 4 月よりインターネットによるレファレンスサービスを開始した。
- ④市民の多岐多様なニーズに応えるため、中央図書館を核として、それぞれの図書館の機能、役割に沿った資料の体系的な収集、保存を行っている。
- ⑤図書館の利用に障害のある方へのサービスとして、対面音訳、自宅配本や郵送貸出等のサービスの充実に努めている。
- ⑥平成 16 年 3 月に「千葉市子ども読書活動推進計画」を策定。平成 23 年 3 月には第 2 次計画を、また平成 28 年 3 月には第 3 次計画を新たに策定し、より一層の子どもの読書活動の推進を図っている。
- ⑦平成 22 年 3 月に「千葉市図書館サービスプラン 2010～きて、みて、発見！身近で頼れるみんなの図書館」を策定し、図書館サービスの充実に努めている。
- ⑧平成 26 年 3 月に「千葉市読書環境整備計画」を策定し、サービス拠点の整備、I C T の利活用、既存図書館の機能更新等、整備の方向性を示した。
- ⑨郷土資料のデジタル化事業により、平成 24 年度に広報映画など 118 本の映像資料をデジタル化し、平成 25 年度は、市民フォトちば全 150 冊と写真資料約 3 万枚をデジタル化した。また、平成 26 年 3 月には、映像資料（50 点）の貸出、図書館ホームページでの写真資料（100 点）の公開を開始した。

2 図書館資料の整備状況（平成 29 年度）

館 名	図 書			視 聴 覚 資 料					雑誌	新聞	紙芝居
	一 般	児 童	合 計	C D	カセット	ビデオ	D V D	マイク映画			
中 央 図 書 館	冊	冊	冊	点	点	点	点	点	誌	紙	点
移 動 図 書 館	851,535	154,435	1,005,970	8,418	217	2,280	2,839	1,228	764	121	1,075
団 体 貸 出	14,002	9,095	23,097	—	—	—	—	—	6	—	—
みずほハスの花図書館	8,228	50,638	58,866	—	—	—	—	—	—	—	—
計	16,440	5,245	21,685	—	—	—	—	—	28	—	—
計	873,765	214,168	1,087,933	8,418	217	2,280	2,839	1,228	798	121	1,075
みやこ図書館	88,560	28,621	117,181	2,013	736	49	59	—	124	10	800
白 旗 分 館	51,725	18,394	70,119	—	—	—	1	—	56	6	495
計	140,285	47,015	187,300	2,013	736	49	60	0	180	16	1,295
花見川図書館	96,470	23,361	119,831	2,272	3	66	24	—	136	9	608
花見川団地分館	43,846	16,593	60,439	—	—	—	1	—	62	5	161
計	140,316	39,954	180,270	2,272	3	66	25	0	198	14	769
稲 毛 図 書 館	116,044	33,164	149,208	2,691	433	65	22	0	135	10	306
若 葉 図 書 館	89,775	23,854	113,629	2,027	272	52	12	—	110	11	380
西 都 賀 分 館	47,609	19,580	67,189	—	—	—	1	—	51	6	168
泉 分 館	32,553	9,624	42,177	—	—	2	3	—	47	5	380
計	169,937	53,058	222,995	2,027	272	54	16	0	208	22	928
緑 図 書 館	99,225	34,800	134,025	2,791	161	49	9	—	178	11	587
あすみが丘分館	49,095	19,352	68,447	—	—	1	1	—	64	9	582
土 気 図 書 室	16,646	12,361	29,007	—	—	—	—	—	15	—	174
計	164,966	66,513	231,479	2,791	161	50	10	0	257	20	1,343
美 浜 図 書 館	85,859	24,376	110,235	3,796	—	11	7	—	104	10	673
打 瀬 分 館	46,430	17,843	64,273	—	—	—	1	—	89	10	463
計	132,289	42,219	174,508	3,796	0	11	8	0	193	20	1,136
合 計	1,754,042	501,336	2,255,378	24,008	1,822	2,575	2,980	1,228	1,969	223	6,852

3 図書・視聴覚資料の貸出状況、開館日数（平成 29 年度）

館 名	図 書			視 聴 覚 資 料				開館日数
	一 般	児 童	合 計	C D	カセット	ビデオ	D V D	
中 央 図 書 館	冊 718,477	冊 330,511	冊 1,048,988	点 47,140	点 176	点 364	点 28,848	日 292
移動図書館	27,252	18,576	45,828	—	—	—	1	226
団体貸出	13	22,564	22,577	—	—	—	—	228
みずほハスの花川図書館	136,538	62,913	199,451	1,183	4	5	391	330
計	882,280	434,564	1,316,844	48,323	180	369	29,240	
みやこ図書館	139,244	63,162	202,406	6,227	201	16	504	296
白旗分館	90,064	56,729	146,793	3,558	70	38	657	281
計	229,308	119,891	349,199	9,785	271	54	1,161	
花見川図書館	93,106	29,558	122,664	5,444	20	6	325	296
花見川団地分館	84,888	22,481	107,369	1,678	2	15	286	281
計	177,994	52,039	230,033	7,122	22	21	611	
稲毛図書館	228,094	133,250	361,344	12,038	140	20	1,015	296
若葉図書館	119,098	42,893	161,991	7,269	88	23	460	296
西都賀分館	72,392	33,375	105,767	2,288	7	29	567	281
泉分館	28,944	12,419	41,363	331	0	6	163	281
計	220,434	88,687	309,121	9,888	95	58	1,190	
緑図書館	214,453	135,776	350,229	10,464	12	36	646	296
あすみが丘分館	101,574	57,955	159,529	2,101	17	31	724	281
土気図書室	7,858	6,249	14,107	121	2	1	28	144
計	323,885	199,980	523,865	12,686	31	68	1,398	
美浜図書館	312,882	127,799	440,681	18,111	7	32	1,424	296
打瀬分館	180,462	102,447	282,909	2,695	2	16	538	281
計	493,344	230,246	723,590	20,806	9	48	1,962	
合 計	2,555,339	1,258,657	3,813,996	120,648	748	638	36,577	

4 千葉市図書館情報ネットワーク協議会

千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、市内の公立図書館、大学図書館、研究機関等の図書室などが、館種を越えた相互協力を通じて、情報提供の推進と図書館サービスの向上を図ることを目的として平成 6 年 1 月に設立された。

平成 29 年度の加盟館は 25 館となっている。

総会、理事会、年 2 回の研修会及び機関紙の発行等の活動を行っている。

■文化財

郷土の歴史・文化への理解を深め、個性豊かな地域文化をはぐくむために、文化財の保存と活用の施策を進める。

《文化財の調査研究》

- 文化財の実態把握と基礎調査の推進
- 文化財台帳の整備

《文化財の保護》

- 主要な文化財の指定・登録
- 文化財の保全と管理の充実
- 埋蔵文化財保護のための助成と指導
- 史跡の公有化と環境整備の推進
- 文化財保護体制の強化

《文化財の公開と活用》

- 資料の公開・展示・収集・保管の充実、普及活動の拡充
 - ・埋蔵文化財調査センター …… 埋蔵文化財
 - ・加曽利貝塚博物館 …… 縄文貝塚資料
 - ・郷土博物館 …… 歴史・民俗・美術工芸

1 文化財の保護と周知

市内に所在する史跡や建造物などの文化財について、関係諸機関等と協力して保護と周知に努め、郷土の文化財に対する市民の理解と愛護の心を培い、郷土意識の高揚を図る。

また、関係部局・機関との連携のもとに、市域に所在する埋蔵文化財を適切に保護するため、普及啓発を行う。

2 文化財の指定・登録

市内に所在する様々な文化財の実態把握に努め、市指定文化財の指定および市地域文化財の登録に向けた調査・検討を行う。

3 文化財の管理

○指定・登録文化財の管理

市内に所在する指定・登録文化財を現状の姿で永く後世に伝えるために、その実態を把握し、管理及び保存・整備についての助成を行うとともに、適切な指導を行う。

○史跡等の管理

公有化して保存されている遺跡について、雑草の除去や樹木伐採等を定期的に行い、景観および安全を保持するとともに、将来の整備・活用に向けて良好に保全する。

4 加曽利貝塚の特別史跡推進

平成 29 年 10 月 13 日、我が国文化の象徴として、加曽利貝塚が国の特別史跡に指定された。縄文時代としては 4 例目、貝塚としては初めてであり、全国から注目されている。

この機会を活かし、加曽利貝塚の魅力や重要性を多くの方に知ってもらうため、縄文貝塚文化の研究と加曽利貝塚の史跡整備を進め、加曽利貝塚でしかできない縄文体験やイベントを実施していく。

5 埋蔵文化財の保護と事前協議

開発事業に先立って、埋蔵文化財保護のために事業者と綿密に事前協議を行い、開発事業と埋蔵文化財の円滑な調整を図る。

(1) 埋蔵文化財の所在の協議依頼…………… 47 件

（内訳）埋蔵文化財有り…………… 26 件

埋蔵文化財無し…………… 21 件

(2) 埋蔵文化財発掘の届出等

ア 発掘調査の届出・報告 15 件

調査主体者	確認調査	確認・本調査	本調査	計
公益財団法人千葉市教育振興財団	0	0	2	2
千葉市埋蔵文化財調査センター	12	0	1	13
合計	12	0	3	15

イ 土木工事等の届出・通知 199 件

届出・通知者	発掘調査	工事立会	慎重工事	計
民間	16	84	97	197
公共	0	2	0	2
合計	16	86	97	199

6 郷土芸能保護事業の充実

(1) 郷土芸能後継者養成事業

郷土芸能保存協会の加盟団体が通年で実施している神楽・囃子・獅子舞等の後継者養成事業に補助金を交付し、郷土芸能の保存・振興を図っている。

(2) 郷土芸能用具補修事業

郷土芸能で使用している装束・面・太鼓等の貴重な用具を後世に伝えるため、用具の補修費の一部を助成している。

< 千葉市郷土芸能保存協会加盟団体 >

郷 土 芸 能 名	保 存 団 体 名	継 承 地	指定・登録
浅間神社の神楽	稲毛浅間神社神楽連	稲毛区稲毛	県指定
三代王神社の神楽	三代王神社神楽連(休会中)	花見川区武石町	市登録
作草部神社の神楽	作草部神社神楽連	稲毛区作草部	
登戸の神楽囃子	登渡神社登戸囃子連	中央区登戸	市登録
千葉神社の神楽	千葉神社神楽連	中央区院内	
八劔神社の神楽	八劔神社神楽連	中央区南生実町	市指定
大六天神社の囃子	貝塚大六天神社囃子連	若葉区貝塚町	
浜野の祭囃子	浜野祭囃子保存会	中央区浜野町	
矢作の囃子	矢作囃子保存会	中央区矢作町	
諏訪神社の囃子	都町諏訪神社囃子会	中央区都町	
検見川神社の神楽・祭囃子	検見川神社神楽囃子連	花見川区検見川町	市登録

■埋蔵文化財調査センター

発掘調査によって収集された多くの出土品や記録物の適切な保存と活用、埋蔵文化財の調査研究等を推進している。

なお、発掘調査・文化財普及事業の一部については、公益財団法人千葉市教育振興財団が実施している。

市内各所の開発などに伴う埋蔵文化財・発掘調査による出土品及び図面・写真等の記録はセンターに納められ、保管される。保管資料については修復し台帳に登録して、教育・普及活動、市民の学習活動に活用できるよう保管体制の整備が進められている。

1 収蔵保管

○新収蔵資料

遺 跡 名	場 所	時 代 ・ 種 別	資 料
古山遺跡	若葉区加曽利町	縄、弥、古 集落跡	縄文土器、土製品、石器、土師器、石製品、鉄製品、陶磁器
台畑古墳群	若葉区加曽利町	古 古墳	縄文土器、弥生土器、土師器

※縄=縄文時代、弥=弥生時代、古=古墳時代

2 文化財普及

(1) 常設展示（館内）

埋蔵文化財の保護と活用、センターの業務内容についてパネルによって解説するとともに、千葉市の原始・古代から歴史時代に至る移り変わりを、これまでの発掘調査で発見された遺構や出土遺物、複製品・模型・解説パネルなどで、よりわかりやすく、視覚的に学習できるようにしている。

(2) 速報展示（館内）

発掘調査等で発見された遺物・遺構の中で、歴史的価値の高いもの・稀少なもの・話題性に富むものなどを速やかに展示し、市民の学習に供するとともに、広く一般に公開する。

(3) 埋蔵文化財ロビー巡回展

埋蔵文化財を通して千葉市の歴史を理解してもらうため、収蔵している埋蔵文化財を市内の各施設のロビー等で期間を決めて展示・公開している。

平成 29 年度は、『大有角石器展』と題し、平成 29 年 11 月 15 日から平成 30 年 2 月 25 日にかけて、郷土博物館、ギャラリー・いなげ、埋蔵文化財調査センター、中央図書館、生涯学習センターの 5 施設で出土品やパネル等の展示を行った。

また、開催期間中に講座を生涯学習センターで 2 回実施した。

(4) ミニ企画展

公共施設等の依頼により各施設などで、パネル・埋蔵文化財等を展示・公開し、千葉市の歴史をわかりやすく説明する。

(5) 出前授業

主に歴史教育の一環として小学校を中心に、滑石を使用した勾玉作り、火おこし、組紐作りや本物の土器・石器等に触れる体験を行うとともに、画像データなどを活用して埋蔵文化財の調査方法や学校周辺の遺跡容器の歴史に関する講座を実施している。

(6) 講師派遣

生涯学習センター・公民館・博物館等の施設での事業やその他各種団体による講演会等に講師を派遣している。

(7) 資料貸出

小学校を対象に古墳時代の土器セット（甕・甗・杯など 10 点）の貸出を行っている。

(8) 千葉市遺跡発表会

市内で実施した発掘調査の最新の成果を広く公開することを目的に開催している。

平成 29 年度は、市内の 3 遺跡に関する発表と加曽利貝塚発掘調査速報・講演を行った。

3 埋蔵文化財調査

市内で現在周知されている遺跡は、1,336 か所である。開発事業に先立ち、事業者の協力を得て、発掘調査を行い、遺物の収集・記録による保存を行っており、調査によって出土した遺物や記録類については整理をし、報告書として刊行している。

平成 29 年度は、特別史跡加曽利貝塚の内容確認を目的とした発掘調査を実施した。そのほか、市公共事業に伴う遺跡の本調査、各種開発事業に伴う 12 遺跡の確認調査、2 遺跡の本調査、2 遺跡の整理・再整理を実施し、遺跡の整理・報告書刊行を行った。

＜平成 29 年度埋蔵文化財調査＞

※旧＝旧石器時代、縄＝縄文時代、弥＝弥生時代、古＝古墳時代、奈＝奈良時代、平＝平安時代、中＝中世、近＝近世

(1) 加曽利貝塚

（国庫補助金【文化庁】を受けて実施する特別史跡加曽利貝塚の内容確認を目的とした発掘調査及び整理作業）

遺 跡 名	場 所	発 掘 面 積	備 考
加 曽 利 貝 塚	若葉区桜木	625 m ² （内容確認）	縄、古 貝塚、集落跡

(2) 発掘調査（市公共事業）

遺 跡 名	場 所	発 掘 面 積	備 考
内野遺跡・内野古墳群	若葉区多部田町	1,700 m ² （本調査）	縄、古、平 古墳群 集落跡

(3) 発掘調査

（市内遺跡：国庫補助金【文化庁】を受けて実施する民間開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査及び整理作業）

山之越第 1 遺跡	若葉区小倉町	137 m ² （確認調査）	縄 包蔵地
内 荒 子 北 遺 跡	中央区生実町	230 m ² （確認調査）	縄、平 包蔵地
古 山 遺 跡	若葉区加曽利町	50 m ² （確認調査）	縄、弥、古 集落跡
上 ノ 山 遺 跡	花見川区長作町	120 m ² （確認調査）	古、奈、平 包蔵地
台 さ ら 坊 遺 跡	若葉区坂月町	119 m ² （確認調査）	縄、古、平 貝塚、古墳
東 海 道 遺 跡	稲毛区宮野木町	225 m ² （確查調査）	古、平 貝塚
藤 葉 遺 跡	中央区花輪町	35 m ² （確認調査）	古、平、中 屋敷跡、貝塚、包蔵地、古墳
西 花 遺 跡	中央区大森町	171 m ² （確認調査）	縄、弥、古、奈、平 集落跡

(4) 発掘調査（開発事前：緊急性の高い開発事業に係る埋蔵文化財の発掘調査）

廿 五 里 遺 跡	若葉区東寺山町	1,042.6 m ² （確認調査）	縄、中 貝塚、集落跡、城館跡、塚
種 ヱ 谷 津 遺 跡	中央区生実町	885 m ² （確認調査）	旧、縄、古、奈、平 包蔵地、集落跡
古 山 遺 跡	若葉区加曽利町	288 m ² （確認調査）	縄、弥、古 集落跡
西 ノ 台 遺 跡	若葉区高品町	123 m ² （確認調査）	古 包蔵地、古墳

(5) 発掘調査（民間事業）

遺 跡 名	場 所	発 掘 面 積	備 考
古 山 遺 跡	若葉区加曽利町	261.6 m ² （本調査）	縄、弥、古 集落跡
東 海 道 遺 跡	稲毛区宮野木町	890.46 m ² （本調査）	古、平 貝塚

(6) 整理（市公共事業）

遺 跡 名	場 所	調 査 年 度	備 考
餅ヶ崎遺跡	若葉区源町	昭和 50～59 年度	旧、縄、弥、古、平、中 集落跡
猪鼻城跡	中央区亥鼻	平成 8、11、13、15、16 年度	弥、古、奈、平、中、近 集落跡、古墳、城館跡

(7) 整理（民間事業・県公共事業）

遺 跡 名	場 所	調 査 年 度	備 考
古 山 遺 跡	若葉区加曽利町	平成 29 年度	縄、弥、古 集落跡
台畑古墳群	若葉区加曽利町	平成 28 年度	古、近 古墳、塚

■千葉市の文化財一覧

1 指定・登録文化財件数

種 類 区 分	有 形 文 化 財							無 形 文 化 財	民 族 文 化 財		記 念 物			伝 統 的 建 造 物 群	計
	建 造 物	彫 刻	工 芸 品	絵 画	書 跡 古 文 書 典 籍 等	考 古 資 料	歴 史 資 料		有 形	無 形	史 跡	名 勝	天 然 記 念 物		
国(指定)			1	1							5(1)		2		9(1)
国(登録)	6														6
県(指定)	3	3	4	1	3	2		2		2	6		3		29
市(指定)	6	16	3	1	2	7	1			1	12	1			50
市(地域)	1				2		1			4	2				10
計	16	19	8	3	7	9	2	2		7	25(1)	1	5		104(1)

() は特別史跡の件数

2 国指定文化財 9件

指定年度	文 化 財 名	所 有 者	所 在 地
昭和 30 年度	刀 無銘吉岡一文字	個人	
昭和 44 年度	紙本墨画烏鷺図 長谷川等伯筆 六曲屏風	〃	
昭和 52 年度	月ノ木貝塚	千葉市他	中央区仁戸名町 299-1 他
昭和 53 年度	荒屋敷貝塚	〃	若葉区貝塚町 726-1 他
昭和 56 年度	横橋貝塚	千葉市	花見川区さつきが丘 1-18
昭和 62 年度	タンチョウ	〃	若葉区源町 280 (動物公園内)
昭和 63 年度	オジロワシ	〃	〃
平成 18 年度	花輪貝塚	法人	若葉区加曽利町 1041-1 他
平成 29 年度	加曽利貝塚 (特別史跡)	千葉市他	若葉区桜木 8-33 他

3 国登録文化財 6件

登録年度	文 化 財 名	所有者・管理者	所 在 地
平成 9 年度	千葉市民ギャラリー・いなげ (旧神谷伝兵衛稲毛別荘)	千葉市	稲毛区稲毛 1-8-35
〃	千葉トヨペット本社 (旧勸業銀行本店)	千葉トヨペット株式会社	美浜区稲毛海岸 4-5-1
平成 19 年度	千葉県水道局千葉高架水槽	千葉県水道局	中央区矢作町 670
平成 23 年度	大巖寺本堂	大巖寺	中央区大巖寺町 180-1
〃	大巖寺書院	〃	〃
平成 29 年度	千葉県水道局千葉分場 1 号配水池	千葉県水道局	中央区矢作町 670

4 県指定文化財 29件

	文 化 財 名	所 有 者	所 在 地
昭和 10 年度	千葉寺ノ公孫樹	千葉寺	中央区千葉寺町 161
昭和 18 年度	戸塚派楊心流流祖・二代墓	胤重寺	中央区市場町 10-11
昭和 28 年度	検見川の大賀蓮	東京大学緑地植物実験所	花見川区畑町 1051
昭和 29 年度	青木昆陽甘藷試作地	千葉市	花見川区幕張町 4-594-1
昭和 30 年度	半円方格帯神獸鏡	個人	
昭和 35 年度	長谷部貝塚	袖ヶ浦カンツリークラブ	緑区平山町 1204 外
昭和 37 年度	浅間神社の神楽	浅間神社神楽連	稲毛区稲毛 1-15
昭和 43 年度	房総数学文庫	千葉県 (千葉県立中央博物館)	中央区青葉町 955-2
昭和 45 年度	木造十一面観音立像	天福寺	花見川区花島町 60
昭和 46 年度	大覚寺山古墳	千葉市	中央区生実町 1861-1 外
昭和 49 年度	焚鐘 (宝徳元年在銘)	長徳寺	緑区富岡町 209
昭和 50 年度	千葉教会教会堂	日本キリスト教団千葉教会	中央区市場町 9-20
昭和 52 年度	旧四関家住宅	千葉市	若葉区御殿町 2538-11 外
昭和 53 年度	荻生道遺跡	個人	緑区小食土町 747 外 (昭和の森公園内)
昭和 54 年度	東寺山貝塚	千葉市	若葉区みつわ台 1-18
昭和 57 年度	覚性御房御返事	立正安国会	中央区長洲 1-33-3
〃	鰐口 (延文 6 年在銘)	本城寺	若葉区中野町 699-1
昭和 59 年度	木造伝七仏薬師坐像	東光院	緑区平山町 271
〃	木造薬師如来坐像	長徳寺	緑区富岡町 209
昭和 60 年度	金銅透彫六角釣燈籠	栄福寺	若葉区大宮町 3869
昭和 63 年度	旧鉄道聯隊材料廠煉瓦建築	千葉経済学園	稲毛区轟町 3-59-6
平成 5 年度	紙本著色千葉妙見大縁起絵巻	栄福寺	若葉区大宮町 3869
平成 15 年度	千葉寺経塚出土資料 (一括)	千葉県 (千葉県立中央博物館)	中央区青葉町 955-2
〃	下総三山の七年祭り	七年まつり保存会	千葉市・船橋市・八千代市
平成 19 年度	陶芸鉄絵銅彩	神谷紀雄(保持者)	
〃	袖ヶ浦市吉野田の清川層産出の 脊椎動物化石	千葉県 (千葉県立中央博物館)	中央区青葉町 955-2
平成 20 年度	浅間山古墳石室出土遺物	〃	〃
平成 26 年度	日本刀の鍛錬	松田周二(保持者)	
平成 27 年度	石井雙石篆刻資料	千葉県 (千葉県立美術館)	中央区中央港 1-10-1

5 市指定文化財 50 件

指定年度	文 化 財 名	所 有 者	所 在 地
昭和 34 年度	猪鼻場跡（含七天王塚）	千葉市・千葉大学	中央区亥鼻 1-24 外
〃	千葉神社	千葉神社	中央区院内 1-16-1
〃	千葉寺境内	千葉寺	中央区千葉寺町 161
〃	千葉氏累代の墓碑	大日寺	稲毛区轟町 2-1-27
〃	七廻塚古墳出土品（一括）	千葉市	中央区南生実町 1210(千葉市埋蔵文化財調査センター内)
〃	武石の板碑	真蔵院	花見川区武石町 1-1413
昭和 35 年度	大日如来坐像	宝幢寺	花見川区幕張町 2-1003
〃	阿弥陀如来立像	〃	〃
〃	荒久古墳	千葉県	中央区青葉町 959（青葉の森公園内）
〃	稲毛の松林	千葉市・浅間神社	稲毛区稲毛 1-10-16 外
昭和 36 年度	薬師如来像	等覚寺	若葉区高品町 478
〃	月光菩薩像	〃	〃
〃	公立千葉病院跡	千葉大学医学部	中央区中央 4 丁目
〃	共立病院跡	〃	中央区院内 2-158（院内公園内）
昭和 37 年度	神楽・神楽書	八劔神社神楽連	中央区南生実町 885
昭和 38 年度	両界曼陀羅（胎藏界、金剛界）	金光院	若葉区金親町 959
昭和 40 年度	五輪塔	来迎寺	稲毛区轟町 1-7-20
〃	梵鐘（康永 3 年在銘）	千葉市教育委員会	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）
昭和 42 年度	森川家累代の墓碑	重俊院	中央区生実町 1156
〃	五日堂の五輪塔	本満寺	緑区誉田町 1-139
〃	伝千葉宗胤五輪塔	宗胤寺	中央区弁天 4-7-23
〃	小壁嵌板彫刻	登渡神社	中央区登戸町 3-3-8
〃	善光寺式観世音立像	東光院	緑区平山町 278
〃	銅板押出阿弥陀三尊像	〃	〃
〃	怨閑塚	個人	緑区誉田町 2-11-3
〃	不受不施派関係古文書	本行寺	中央区浜野町 1252
昭和 49 年度	千眼神社の鰐口（天文 13 年在銘）	天満宮	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）
〃	長沼の駒形大仏	長沼町内会	稲毛区長沼町（長沼駒形観音堂境内）
昭和 56 年度	千葉山	金蔵院	稲毛区園生町 444-1 外
〃	滑橋貝塚	個人	若葉区小倉町 1014 外
昭和 58 年度	民間航空資料	千葉市・登渡神社	美浜区高浜 7-2-1（稲毛民間航空記念館）
昭和 62 年度	木造妙見菩薩立像	栄福寺	若葉区大宮町 3869
〃	ジャジャシキの石造五輪塔	個人	緑区越智町 171
平成 6 年度	旧生浜町役場庁舎	千葉市	中央区浜野町 1290-3
平成 7 年度	旧川崎銀行千葉支店本館	〃	中央区中央 3-10-8
平成 11 年度	木造天部形立像 2 軀	東光院	緑区平山町 278
〃	木造阿弥陀如来坐像	福寿院	中央区川戸町 694
〃	木造勢至菩薩立像	泉蔵寺	緑区おゆみ野有吉 31-4
〃	木造釈迦如来坐像	仁守寺	中央区仁戸名町 194
平成 12 年度	木造阿弥陀如来立像	来迎寺	稲毛区轟町 1-7-20
〃	木造不動明王頭部	光明寺	中央区中央 4-5-6
〃	銅造千手観音菩薩坐像	胤重寺	中央区市場町 10-11
〃	木造阿弥陀如来立像	大覚寺	中央区生実町 1783
平成 13 年度	古瀬戸灰釉四耳壺	千葉市	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）
〃	常滑長頸壺	〃	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）
平成 16 年度	千葉御茶屋御殿跡	千葉市	若葉区御殿町 2549
平成 23 年度	内野第 1 遺跡出土人面付土版	千葉市	中央区南生実町 1210(千葉市埋蔵文化財調査センター)
平成 24 年度	五十石遺跡出土把手付中空円面硯	〃	中央区南生実町 1210(千葉市埋蔵文化財調査センター)
平成 25 年度	中鹿子第 2 遺跡出土土偶	〃	中央区南生実町 1210(千葉市埋蔵文化財調査センター)
平成 28 年度	原文書	千葉市	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）

6 市地域文化財 10 件

登録年度	文 化 財 名	所有者・保持者	所 在 地
平成 20 年度	平川町内会文書	千葉市緑区平川町内会	中央区亥鼻 1-6-1
〃	登戸の神楽囃子	登渡神社登戸囃子連	中央区登戸 3-3-8
平成 21 年度	遠近庵三市の追悼碑	宝蔵院	花見川区検見川町 1-5
〃	「開有富」の開墾碑	春日神社	花見川区作新台 5-14
〃	寒川神社の御浜下り	寒川神社氏子青年会	中央区寒川町 1-123
平成 22 年度	稲荷町有文書	稲荷神社	中央区稲荷町 2-8-30
〃	三代王神社の神楽	三代王神社神楽連	花見川区武石町 1-4
平成 25 年度	検見川神社の神楽・祭囃子	検見川神社神楽囃子連	花見川区検見川町 1 - 1
平成 27 年度	黒砂文教場の記念碑	黒砂第一自治会	稲毛区黒砂 4 丁目
〃	千葉市ゆかりの家・いなげ（旧武見家住宅）	千葉市	稲毛区稲毛 1-16-12

■加曽利貝塚博物館

1 加曽利貝塚

国内に約 2,400 か所ある縄文時代の貝塚の中で、全長が 300m を超える最大級の規模を誇る貝塚として知られる。学術的な価値も高く、明治時代から著名な人類学者・考古学者によって発掘され、縄文時代の研究に欠くことのできない資料を数多く提供してきた。

現在、縄文時代中期を主体とする北貝塚、後期を主とする南貝塚とその周辺を含む約 15.1 万㎡が国の史跡に指定され、貝塚の保護を図るとともに、縄文時代の文化や暮らしに親しめる公園として公開・活用されている。公園内は縄文時代の植生に近い環境が復原・保全され、落葉広葉樹林を主とした緑が広がる。また、希少な動植物も生息しており、環境教育などへの活用も期待されている。

平成 24 年度からは加曽利貝塚の価値を高め、その重要性を広く知ってもらうため、特別史跡指定を目指した取り組みを進め、平成 29 年 10 月 13 日に「縄文時代中期の貝塚を含む環状集落と後期の貝塚を含む馬蹄形集落から成る国内最大級の集落跡。考古学の研究史における重要性、埋蔵文化財保護の歴史、埋蔵文化財の整備と活用に関する先駆性、教科書等を通しての全国的な知名度等の様々な観点から、我が国文化の象徴として特に重要である。」として指定された。



▲空からみた加曽利貝塚

2 博物館の特色

貝塚そのものを展示対象とする「野外博物館」を目指し、昭和 41 年に開館した。加曽利貝塚の出土資料を中心とした館内展示と合わせ、貝塚の内部を常に観覧できるように設置された野外施設や復元集落を見学することで、貝塚や縄文時代の暮らしや文化について体感的に学ぶことができる。

平成 15 年度にはボランティアの育成・活用を開始し、見学ガイドや体験活動の充実など、来館者が縄文時代について興味深く学ぶための支援を行っている。

3 野外施設の整備

博物館の設置と合わせて整備が進められた北貝塚では、発掘した住居跡や貝塚の断面をいつでも見学できる観覧施設が昭和 43 年に整備された。一方、南貝塚では、昭和 63 年度から遊歩道や説明板、復元集落などが整備されるとともに、新たに貝塚の断面を観覧できる施設が設置された。このため現在では、北・南両貝塚の時代の異なる貝層断面を比較して見学できるようになった。

北貝塚の住居跡群の観覧施設では、露出している貝層断面や遺構面の劣化が進んでいたが、新たな薬剤による保存処理やレーザークリーニングによる実験が行われ、現在は発掘当初に近い状態で見学できる。また、復元集落では、平成 27 年度末に新たに 1 棟の復元住居を再建しており、現在、3 棟が整備されている。平成 28 年度より来館者が縄文時代の暮らしや文化を想像しながら見学できる環境の整備に努めている。

4 館内の展示

○「加曽利貝塚から縄文時代の貝塚をみる」を常設展とし、テーマを設けて企画展を実施している。



▲展示 「ムラのようなすゝと環境」



▲展示 「ムラの生活」

5 入館状況（平成 29 年度）

年度	開館 日数	大 人		小・中学生		合 計
		個人	団体	個人	団体	
29	306	43,146 人	3,711 人	16,326 人	8,327 人	71,510 人

6 発掘調査の再開

昭和 48 年に行われた本調査以降、加曽利貝塚での発掘調査はトレンチ調査（確認調査）のみ実施されていたが、平成 29 年 10 月から、45 年ぶりに本調査を実施し、平成 30 年度は 8 月～11 月にかけて引き続き調査を実施する。

7 事業の概要

<平成 30 年度行事>

	行 事	期 間 ・ 期 日	募集人員	内 容 ほ か
展 示	春の小企画展「特別史跡 加曽利貝塚発掘速報展」	平成 30 年 4 月 1 日(日) ～5 月 27 日(日)	自由	平成 29 年度に実施した発掘調査で確認できた遺構・遺物等の展示を行う。
	小企画展「地図と写真で 見る加曽利貝塚」	平成 30 年 6 月 2 日(土) ～7 月 1 日(日)	自由	これまでの発掘調査、研究の歴史などで使われた地図資料や写真資料から加曽利貝塚の魅力を紹介する。

	夏休み企画展「縄文人の謎にせまる」	平成30年7月14日(土) ～9月2日(日)	自由	夏休み期間中に合わせ、「縄文人」について、小学生目線でわかりやすく解説する。
	秋の小企画展「写真で見る加曽利貝塚の自然」	平成30年9月8日(土) ～10月8日(月)	自由	加曽利貝塚に生息する希少な動植物について写真等で展示解説を行う。
	企画展「加曽利E式土器～あれもE、これもE～」	平成30年10月20日(土) ～平成31年3月3日(日)	自由	加曽利貝塚が標識である加曽利E式土器について、千葉市内の遺跡から出土した同土器を集め展示解説を行う。
	春の小企画展「特別史跡加曽利貝塚発掘速報展」	平成31年3月16日(土) ～3月31日(日)	自由	平成30年度に実施した発掘調査で確認できた遺構・遺物等の展示を行う。
教 育 普 及	縄文ひろば	毎月第2・4日曜日	自由	縄文時代の火おこしやアングイン編みなどの体験・学習。
	ゴールデンウィークイベント 縄文春まつり	平成30年5月5日(土)・6日(日)	自由	各種縄文体験やクイズラリー、土器太鼓・ハーブ演奏・トークショーなどのステージイベント、移動動物園・エア遊具・ドローン操縦等の体験、イボキサゴを使った軽食やその他物販等を行うイベントを開催する。
	縄文土器づくり講座	①平成30年6月2日(土)・9日(土)・16日(土)、7月14日(土) ②平成30年9月8日(土)・15日(土)・22日(土)、10月20日(土)	各回 16人	縄文土器を縄文時代の方法で制作し、縄文時代の技術と文化を体験学習する。
	縄文時代研究講座	①平成30年6月13日(水)、 ②20日(水)、③27日(水)、 ④12月16日(日)、 ⑤平成31年1月20日(日)、 ⑥2月24日(日)	①～③ 自由 ④～⑥ 各回 50人	①～③は、加曽利貝塚に関連したテーマにして、④～⑥は加曽利E式土器をテーマとした講座を行う。
	小学生土器づくり教室	平成30年7月21日(土)、28日(土)、 8月18日(土)	定員 16人	小学5・6年生を対象とした縄文土器づくり教室で縄文時代の方法で制作し、縄文時代の技術と文化を体験学習する。
	土偶づくり教室	A 平成30年7月22日(日)、 B 7月29日(日)、A・B 8月19日(日)	A・B 各16人	縄文時代の土偶を制作することを通して技術や生活文化等を体験する。
	縄文時代教室	①平成30年8月5日(日)、 ②8月12日(日)、 ③8月26日(日)	各回 20人	小学5・6年生を対象とした「遺跡」、「土器」、「石器」をテーマとした講座を行う。
	夏休み土器ドキ発掘体験	平成30年7月25日(水)、8月1日(水)、 8日(水)、15日(水)、22日(水)、 29日(水)	各回 8人	小学3年生から中学生を対象とした発掘の疑似体験を行う。
	夏休み縄文ひろば	平成30年7月21日～8月26日の間の土・日曜日(8月11日・12日は除く)	自由	縄文時代の火おこしやアングイン編みなどの体験・学習。縄文ひろばの夏休み拡大版。

	自然観察ワークショップ	①平成30年9月16日(日)、 ②10月7日(土)、③13日(土)、 ④平成31年1月27日(日)、 ⑤2月2日(土)	①②④ 各回 30人 ③⑤ 各回 親子15組	公園内にある豊かな自然を対象に特徴的な動植物をテーマにしたワークショップと自然を使った体験や工作を行う。
	縄文秋まつり	平成30年11月3日(土)、4日(日)	自由	各種縄文体験やクイズラリー、トークショー・演奏などのステージイベント、移動動物園、イボキサゴを使った軽食やその他物販等を行うイベントを開催する。
	石器づくり講座	平成30年11月18日(日)	定員 15人	中学生以上を対象として、縄文人の必需品の石器の製作体験から技術や文化などを学ぶ。
	ナイトミュージアム	平成30年12月1日(土)	自由	博物館や復原集落の夜間公開、星空観察・解説会、貝塚コンサートを開催。
	骨角器づくり講座	平成31年3月16日(土)	定員 15人	高校生以上を対象として骨角器づくり体験を行う。
	速報展見どころ解説	平成31年3月17日(日)	自由	加曽利貝塚発掘速報展の展示解説を行う。
調査研究	自主研究 ・東京湾岸における貝塚文化の研究 ・縄文土器の型式についての調査・研究			
出版	博物館紀要の刊行			

8 博物館の整備

博物館は昭和41年の開館から半世紀を迎え、施設の老朽化が進んでいることから、中・長期的な環境整備について、平成30年度中に加曽利貝塚グランドデザインを策定する。

■郷土博物館

昭和42年4月9日、観光課の所管施設「千葉市郷土館」として開館し、昭和51年7月に教育委員会社会教育課へ移管され、さらに昭和54年4月、文化課の設置にともない本市における社会教育施設としての方向づけがなされた。

さらに、昭和58年4月に「千葉市立郷土博物館」と館名を改めた。主として歴史・民俗系の博物館として活動しており、同時に市史編さん事業も行っている。

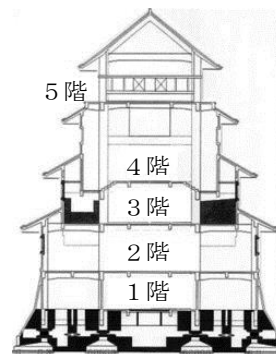
平成19年4月より教育委員会の組織改革に伴い、生涯学習振興課の所管となり、平成27年4月からは文化財課の所管となっている。



▲郷土博物館

1 施設及び展示内容

- 1 階 原始・古代から現代までの歴史年表
千葉市の歴史のあれこれを紹介する導入展示のコーナー
- 2 階 収蔵資料の展示（特別展・企画展会場）
- 3 階 千葉氏の興亡と妙見信仰
- 4 階 近現代の千葉市
- 5 階 展望室（展示室）



2 入館状況（平成 29 年度）

年度	開館 日数	大 人		小・中学生		その他 (ボランティア等)	合 計
		個人	団体	個人	団体		
29	297	39,387 人	4,446 人	9,510 人	3,215 人	4,670 人	61,228 人

3 展示事業（平成 30 年度）

事 業 名	期 日 等	内 容 ・ 目 的 等
千葉常胤生誕 900 年記念特別展「千葉常胤と鎌倉幕府の成立—東国武士と武家政権—」	平成 30 年 10 月 23 日（火） ～ 平成 30 年 12 月 16 日（日）	千葉のまちの礎を築き、源頼朝の鎌倉幕府の成立に貢献したことにより千葉氏を屈指の有力御家人に育て上げた千葉常胤の生誕 900 年を記念して、鎌倉幕府の成立における常胤の働きを源頼朝や上総氏・三浦氏・北条氏等の東国武士達の動向とともに紹介する。
明治 150 年記念企画展『千葉街案内』にみる千葉	平成 30 年 8 月 26 日（日） ～ 平成 30 年 10 月 14 日（日）	明治 150 年を記念して、明治 44 年に発行された千葉街のガイドブック『千葉街案内』の記述を中心に近代の千葉町を紹介する。

4 教育普及事業（平成 30 年度）

事 業 名	期 日 等	内 容 ・ 目 的 等
歴史講座	平成 30 年 11～12 月 (全 3 回)	千葉市を中心とした歴史について分かりやすく解説。
鎧やむかしの着物の着用体験	平成 30 年 4 月～31 年 3 月 (10 回) 毎月第 3 土曜日	中世の鎧や小袖、桂（いずれも複製）などの着用体験により、日本の歴史に親しむ。
夏休み小・中学生郷土史講座	平成 30 年 7 月 25 日・27 日	小・中学生とその保護者を対象に縄文時代についての講座と石器使用などの体験、中世の鎧や着物についての解説と着用体験などで歴史に親しみ、千葉の歴史や文化への理解を深める。
鎧作り体験講座	平成 30 年 8 月 21～23 日 (全 3 回)	小学生を対象に昔の鎧の複製をボール紙で作る、歴史理解とものづくりを体験。
歴史散歩	平成 30 年 12 月 8 日	郷土博物館周辺の文化財の見学会を行い、千葉市の歴史や文化への理解を深める。
鎌倉騎馬武者体験	平成 30 年 9 月 22 日・ 10 月 21 日・11 月 10 日	鎌倉時代の大鎧等を着用しての乗馬体験を実施

5 資料収集保管事業

展示・研究に必要な資料の収集・保管（平成 29 年度までの収集点数）

歴 史	民 俗	書 籍	科学等	美 術	合 計
5,275 点	6,786 点	17,276 点	143 点	212 点	29,692 点

6 調査研究事業（平成 30 年度）

事 業 名	調 査 内 容
千 葉 市 民 俗 調 査	高齢者からの聞きとり調査を中心にして、失われていく昔の生活の様子等に関する資料を収集する。
千 葉 市 関 係 文 書 調 査	千葉市の歴史にかかわる資料を調査する。
千 葉 氏 関 係 史 料 調 査	各地に残されている千葉氏に関する史料を探索し、収集・調査・整理する。

7 市史編さん事業（平成 30 年度）

事 業 名	事 業 内 容	
史料調査収集事業	市内の歴史資料の調査・収集・整理	
市史等の刊行	『千葉市史史料編近現代』刊行に向けた掲載史料の一次選定・二次選定・翻刻作業	
市史普及事業	対象・回数	事 業 内 容
市史研究講座	市民・2 回	千葉市史等をもとに市域内の歴史的事柄を解説する。 テーマ：千葉市域や近隣地域の歴史を学ぶ
初級古文書講座 （午前・午後）	市民 ・各 6 回	古文書の講読を通して江戸時代の郷土を理解する。 テーマ：江戸時代の村の古文書を読む
中級古文書講座	市民・6 回	古文書の読解力・文章把握力を高める。 テーマ：生実藩の史料を読む

■千葉市科学館

千葉中央第六地区市街地再開発事業における公共公営施設のひとつとして、千葉市科学館が開館した。この科学館は、常設展示、プラネタリウム投影、ワークショップ、講座を通して、青少年の創造力の涵養、並びに市民文化の向上を目的に、千葉市の科学の拠点を目指し設置するもので、“参加体験型科学館”を目指し、幅広い年齢層に対応する施設を目指すものである。

1 施設の概要

- (1) 開 館 日 平成 19 年 10 月 20 日
- (2) 住 所 千葉市中央区中央 4-5-1
Qiball（きぼーる）内
- (3) 施設構成 常設展示室、企画展示室、
プラネタリウム室
- (4) 延床面積 約 13,000 m²（複合ビルの 7～10 階他）
- (5) 開館時間 9：00～19：00
（プラネタリウム最終投影は 19:00～）
- (6) 休 館 日 年末年始、施設の保守点検日
- (7) 駐 車 場 大型バス 4 台、自家用車は隣接駐車場を利用（有料）
- (8) 交 通 モノレール葭川公園下車徒歩 5 分



▲千葉市科学館（Qiball（きぼーる）7～10 階）

2 運営の特色

運営コンセプトに“人が主役”“来館者との体験の共有”の2つのキーワードを設定している。各展示エリアには、展示品に加えスタッフやボランティア等、人を介した探究の場を設けている。

また、利用者が実際に手を触れながら学べる展示物や展示内容をさらに深めることのできる情報端末を全展示エリアに配置している。

3 常設展示室の構成

8階より10階までの3フロアが常設展示室で、およそ140の展示物とワークショップの場を設定している。

8階は“ワンダータウン”といい、光・音・錯視・数学等身の回りの不思議な科学を扱い、諸室として科学実験室・講義室を設けている。

9階は“テクノタウン”といい、電気・工学メディア・先端技術等技術とものづくりをテーマとしている。諸室としては、科学工作室がある。

10階は“ジオタウン”で、地球や宇宙、環境等を扱っており、探究実験室、JAXA コーナー、気象協会オンラインデータ等が設置されている。

4 プラネタリウム

Qiball（きぼーる）のシンボルマークである球体で、直径23mのドームに200の座席を配置し、投影機は光学式投影機とプロジェクターによる最新ハイブリッド型を採用している。星空の美しさ、特に天の川の精緻な描写、また星空の説明案内においてもデジタル技術が盛り込まれたものである。

生解説に全天周映像番組等を織り交ぜながら、幅広い年齢層に対応した番組を投影することとしている。